

日本動物看護学会第 48 回例会

第 5 回動物看護研究勉強会開催報告

開催日時：2017 年 6 月 19 日（月）

代表幹事：加藤 麻友香

参加者 7 名

11:00～11:45 予演会 【日本動物看護学会第 26 回大会にて口頭発表予定の 2 題】

座長 山市まどか

① 犬における検温方法の比較検討

山上優美（大阪どうぶつ夜間急病センター）

② 全身麻酔下のイヌに低温熱傷を負わせてしまった一事例

清水夕貴（倉敷芸術科学大学 動物麻酔科学研究室）

11:45～12:30 ランチミーティング

お弁当を食べながら、自己紹介、過去の研究内容、現在の研究内容、興味のある研究をそれぞれ話しあった

13:30～14:00 講義【動物看護師が研究に取り組むために】

講師 神田鉄平氏（倉敷芸術科学大学動物生命科学科 准教授）

動物看護師が研究に取り組むにあたってなぜ研究を行うのか、研究のために参考文献の探し方などご紹介いただいた。また、科学的根拠をどのように指し示すか、「思う」と「考える」の違い、研究には普遍性を見出すこと、先行研究、信頼できるエビデンスの探し方など、これから研究を始める動物看護師にとって大変興味深く、有意義な内容であった。

14:10～15:00 研究報告会（研究経過の報告と相談）

参加者 1 名による研究報告

参加者の声（一部抜粋）

- 自分が日常的に思っていた疑問が実は自分だけの疑問ではないと分かったり、業務を行う上でのそれぞれの工夫をお伺いすることができた。
- 実際の臨床現場ですでに研究に取り組まれている方やあるいは取り組もうとしている方とディスカッションをしたり、自分の報告に関して意見を出していただいたことで、考えの幅を持たすことが出来たと感じており、とても刺激になりました。
- 不安に思っていたところを複数の意見がもらえ方向を見出す手助けをしていただいた。

